



愛知の「働き方改革」取組事例

株式会社 ジャパン・テック・インフラ



所在地：愛知県蒲郡市
業 種：製造業
社員数：男性 97名 女性 113名 (H27.11 現在)

### 取組の目的

- ・効率的・柔軟に働くことで成果をあげ、社員がより善く生きることを目的とする。
- ・細胞を取り扱う業務の特殊性から発生する変則的な勤務シフトの身体への影響を軽減する。
- ・他部署の勤務状況・業務内容にも深い関心を持ち、育児・介護での休職時や、一時的に高い業務負荷が発生した際に、社員同士が助け合う体制を構築する。

### 取組の概要

#### ○ 労働時間に関する状況

生産部門の業務内容は重度熱傷患者の表皮細胞と膝関節の軟骨欠損患者の軟骨細胞を培養・出荷検査を行うことであり、患者の有無等により業務量が変動するため、労働時間の調整を行いやすい 1 か月単位の变形労働時間制を採用している。

#### 【1】労働時間の見える化

労働者全員のシフト、休暇の取得状況については、社内イントラネット上で誰でも確認することができるようになっている。所定時間外労働を月 45 時間を超えている者については、リスト化し、労使協議の場で情報を共有するとともに、該当者に対し長時間労働抑制の啓発を行っている。

#### 【2】応援体制等

- ・移植用組織（生きた細胞）を取り扱っているため、病気等で体調が悪い場合は、生産部門において作業ができないことになる。また、患者発生時には、生産・営業部門で様々な作業が発生するため、急な業務変更に対応できるよう土日祝にも待機要員を確保している。
- ・移植日が集中するなど一時的に業務量が増大する場合（生産部門が対象）には、早番・中番・遅番の3パターンの勤務体制とし、時間をずらして他部門の社員が応援に入るなど、特定の社員に負担が偏らないように工夫している。生産職以外の研究職・事務職も応援に入ることができるよう、培養トレーニング研修を実施し、スキル獲得・維持を図っている。
- ・細胞の取り扱いは集中力を必要とするため、次の勤務まで最低 8 時間のインターバルをとるよう、翌日の出勤時刻調整を行っている。

## 取組の概要

### ○ 年次有給休暇の取得促進

年次有給休暇の取得が困難な生産部門（製造・検査部門）において、取得促進の取組として、事前調整により、年休5日と土日を合わせて取得する7日連続休暇制度を推奨している。年度の始めに取得予定を立て、全員連続休暇を取得できるようにシフト調整を行っている。

### ○ 女性の活躍推進

#### 【1】女性の管理職登用

全社員に占める女性社員の割合は約60%であり、全ての職種に女性社員を配置している。管理職への登用も積極的に行っており、平成27年11月現在の管理職（課長相当職以上）に占める女性社員（正社員）は6人で、全体の20%である。また、次期管理職候補である課長補佐職は、32人のうち女性が16人と50%を占めている。

育児休業取得後の課長昇進者、課長補佐昇進者が5人おり、長期的なキャリア形成のロールモデルとなっている。

#### 【2】育児支援

他社と共同で同市内に保育施設を設置。現在3人利用している。保育時間は8:00~18:30。1歳から3歳の年度末までの子を、必要な時期に入所させることができる。保育施設の運営費用については、利用者数に応じて他社と按分している。

## 現状とこれまでの取組の効果

- 平成27年度後半から、社員からの提案を受けて、毎週水曜日を「ノー残業デー」として周知し、部署内で協力して業務効率化を図る取り組みを開始した。
- 平成27年度の時間外労働は、昨年度と比較して約20%減少した。
- 育児休業を取得した社員は、延べ20名を超え、全員が復職をしている。